

多機能ホームまどか

小規模多機能型居宅介護 サービス評価
【事業所自己評価】

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	0人	0人	13人

前回の改善計画
計画作成担当者は、初期の情報を整理する時間を確保する為、今日やる事と必要な時間を他のスタッフに伝え、全員でその時間を確保できるように協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・計画作成担当より、各日の予定を聞くことにより、その時間はできるだけ優先できるよう、スタッフで協力し調整が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	11	2	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	11	0	0	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	5	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	8	0	0	15

できている点
・初期の情報を整理する時間は十分とはいえなかった。しかしスタッフ間の情報共有は、ミーティングや空き時間で、事前に伝えられている。 ・利用初期の利用者は、ゆっくり時間をかけ関係作りをして、その家族に対してもできる限り気を配り、声掛けにつとめ話を聞いている。知り得た情報はその日の振り返り時間等にスタッフ間で共有、話し合っている。

できていない点
・慣れない場所や慣れない人の中に入る不安を考えると、複数のスタッフが係わるより担当をつける方がより丁寧にかかわれた。

次回までの具体的な改善計画
・本人がまだ慣れていない時期には、朝のミーティングでその日の担当を決めて、まどかや他の利用者となげの工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	0人	14人

前回の改善計画
 したいことを実現するためには介護保険の範囲内では限界があるため、他の社会資源を活用していく。社会資源の情報を集め、スタッフ全員で共有する機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・介護保険ではできない支援(楽しみのための外出等)は、地域包括や近所の人で関わってくれる人はいないか、と情報を得るための努力をしている。
 ・各利用者に合った社会資源を十分検討する時間が持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5	6	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	8	0	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6	5	0	0	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	8	0	0	13

できている点
 ・車椅子使用の利用者の「歩きたい」という本人の希望に添って何が出来るか検討して、手引きの歩行が可能となった。
 ・本人と相談して「花の世話」を役割りとして実施、生き生きとした表情で行なっている。
 ・スタッフ全員で、実践した内容を振り返り、希望をかなえる努力をしている。

できていない点
 ・目標の「～したい」を目指す関わり方の意識が薄い。

次回までの具体的な改善計画
 ・社会資源とは何かについて、全員で学習する機会を設ける。
 ・ケアプランの短期目標を意識したケアを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

3. 日常生活の支援

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	0人	0人	12人

前回の改善計画
家族・本人に近所の方との付き合い方について話を聞いて、必要に応じてまどかが近隣の方に挨拶に伺う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・モニタリングでごみ出しの問題があり、家族から近隣の方との関係を伺った上で挨拶し、更に詳しい情報をもらうことができた。
・訪問時に自宅の様子から情報を得た。近隣の人にまどか通信を届けて協力を得られるよう努力した。
・利用者の友人が支援者として関わってくれ、体調不良のときには連絡が入った。
・近所の方との関わりはほとんどないが、マンションの清掃員の方も日常的に気に留めていることがわかり、事業所の連絡先を渡すことができた。以降、スタッフに状況を知らせてくれることが増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	5	2	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	10	0	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	6	6	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	10	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	10	0	0	16

できている点
・ミーティングや申し送り時に体調の変化・気持ち・気付きは確認して共有、支援内容につなげる努力をしている。
・利用者に変化が見られた時には、臨時で通い、宿泊や訪問を入れて、その場面場面で何が必要かを話し合い支援できている。特に体調面では、家族に出来るだけ正確に伝えている。

できていない点
・通いサービスのみ担当するスタッフは、自宅や宿泊時の利用者の様子や生活環境を把握する機会が少なく難しい。

次回までの具体的な改善計画
・「こんな人です」シートを作成し、訪問や宿泊をしていないスタッフにも生活環境や以前の暮らし方を伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	0人	0人	12人

前回の改善計画
地域・社会資源の情報を集める。得た情報を、全員で共有する時間を作り、利用者と照らし合わせ活用してみる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ゴミを出しに、近所の方が協力していることがわかった。また、民生委員と係わりを持ち、ゴミ捨て等お願いできた。 ・米屋さんの配達を受けているなど、できるだけ多くの情報を集める努力をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	7	1	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	6	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	9	0	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	3	1	0	10

できている点
・ご本人やご家族からの情報を元に人間関係などの把握に努め、これまで利用してきた美容室やお米屋さんとの関係を続けられるような支援している。 ・ご近所、友人の方たちに、何かあった時連絡がもらえるように協力を頼んだ。家族に無理のない支援(電話で服薬を促すなど)を頼み、本人との関係が切れないようにした。 ・言葉での表現が難しい利用者は、訪問時に自宅環境や、来所した時の様子から、把握するようにしている。

できていない点
・利用者全員の地区担当の民生委員の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画
・利用者ごとの民生委員を把握し、必要な連携を取る体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	0人	0人	10人

前回の改善計画	多様なニーズを把握し応える力をつける研修を行う。また、家族や地域の力などの社会資源を研究し活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の力の活用として、ゴミ出しが難しくなった利用者に対し、近所のまどかボランティアにゴミ出しの協力をお願いした。 ・ミーティング等で様々な社会資源を検討できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	6	0	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	5	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	6	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	6	0	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が摂れていない利用者へ訪問サービスで食事の提供をした。また、配食サービスや宅食に繋いだ。 ・家族のレスパイト目的での宿泊を入れ、介護から開放する時間を作った。 ・日々の変化は記録し共有した。状態に合わせた支援内容は随時話し合っている。 ・独居利用者の状態変化は、その都度柔軟な支援が必要で臨時訪問、通い、宿泊で対応した。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の活用は、十分ではない。 ・独居利用者は、まどかの支援内容が増えてしまう傾向にあり、持っている能力を十分活かすきれない側面がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、多様なニーズに応えられる社会資源の情報を探す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

6. 連携・協働

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	0人	0人	11人

前回の改善計画	スタッフ全員(看護職や勤務日数の少ないスタッフも含める)が担当する利用者を持ち、カンファレンス・モニタリング等に参加してみる。また、その時間を全員が協力して作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・働き方が様々で、カンファレンス、団体との情報の共有や連携はミーティングで報告され、ミーティング欠席者は議事録や他のスタッフから情報を得た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	6	6	0	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	4	0	0	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	7	4	0	0	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	4	0	0	11

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良時に本人の状態と支援内容を訪問看護に伝え、よりスムーズな受診につながった。必要時に相談をする体制ができている。 ・退院時のカンファレンス、サービス導入に伴う担当者会議を開催した。 ・関係機関(福祉用具・薬局・訪問看護・訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・包括支援センター・成年後見人・訪問マッサージ・新座市他)との密接な連携を計っている。各々の役割や専門分野からの意見や助言を取り入れる努力をした(服薬の助言、体調不良者の対応、歯の検診、身体機能の改善見立て他)。 ・ほぼ毎日ボランティアが関わってくれる(月延べ40人前後)。 ・市民清掃や町内会の防災訓練に参加した。まどかコンサートを開催した際には地域の方の参加が多数あった。
--------	--

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

7. 運営

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	0人	11人

前回の改善計画
集会所・公民館・学校など地域・社会資源の情報を集める。得た情報を、全員で共有する時間を作って活用する

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・社会資源や公的施設などの情報を十分には集められなかった。
- ・視点が近隣に限られ、より広い視野で社会資源を見る事が少なかった。
- ・通い、訪問、宿泊のサービス提供業務優先で、1日の中でそれ以外の時間を作る事が難しい状況にある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	6	1	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	9	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	1	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	7	0	0	12

できている点

- ・意見や苦情があった場合、できるだけ早い時期にその対策を話し合い実行している。
- ・事業所の活動や方針、理念等は、スタッフ間でミーティングや法人の定例総会の資料作りの時に意見交換をしている。
- ・利用者や家族からの意見はとても参考になるので、聞いた内容はスタッフ間で共有し改善した。

できていない点

- ・昨年同様、運営という言葉に「担当のスタッフが決まっている」との意見が多かった。

次回までの具体的な改善計画

- ・まどかで仕事をしている事自体が“運営”に関わっている、という意識を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	研修について見直す。まどかとして、スタッフとしてどのような研修を効果的に行い参加するかを考え、方法を形にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修担当業務が機能せずに効果的な研修の見直しができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	1	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	4	7	0	0	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	8	0	0	11

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・他の小規模多機能ホームへ見学実習に行くことができた。当事業所との比較や業務の進め方などを学ぶよい機会となった。他スタッフも報告をうけ、まとめた資料を閲覧した。 ・事故報告やヒヤリ・ハットは毎日の振り返り時やミーティング、文書で共有し、再発防止策を検討している。運営推進会議の場でも報告、助言を受け再度ミーティングで検討し実施している。 ・法人研修にはスタッフ全員が参加し、「自立と共生」について考えた。 ・自主的に職場外での講義に参加しているスタッフもいる。 ・地域で開催される勉強会には出来るだけ参加して、ミーティングの場でフィードバックしている。 ・ミーティング時にミニ勉強会をした(防災について、気持ちよく入浴するために、虐待防止他)。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修などに参加する時間の確保が出来るのかと思い遠慮してしまう。 ・外部研修に積極的に参加希望するスタッフが少ないのはケア業務の多忙さにある。そのため参加者に偏りが見られる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標に従って、必要な研修を行う。 ・ミニ研修を積極的に開催する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月22日(18:10~20:10)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中本・堀川・滝本・権田・海老沢・小室

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	0人	12人

前回の改善計画
 プライバシーや個人情報の保護、成年後見人制度も含めた権利擁護について皆が学習する時間を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・ミーティングなど随所で“権利擁護”の意識は強いが、成年後見人制度を皆が学習する時間は持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3	0	0	15
②	虐待は行われていない	13	2	0	0	15
③	プライバシーが守られている	10	5	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	6	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	9	1	0	15

できている点
 ・強制や制限なく、その人に合わせて支援が行われている。
 ・事務所と静養室が一緒になっており、個人ファイルが利用者の目に届く場所にあるので、日々意識して努めている。
 ・成年後見人制度の活用は地域包括や市と協力し繋いだ。
 ・金銭的虐待にあたるケースは地域包括支援センターに繋ぎ見守っている。

できていない点
 ・他の利用者の中でトイレの声かけをしてしまい配慮が足りなかった。

次回までの具体的な改善計画
 ・成年後見人制度の学習会を行う。